

首都圏広域地方計画(構成案)

第一部 首都圏広域地方計画の基本的考え方

第一章 首都圏を取り巻く現状と地域特性

※ブロックが持つ地理的、経済社会的、文化・歴史的条件等における地域特性を明らかにする。
人口、産業、地域資源の状況等の地域の現状に関する客観的なデータの整理・分析を行うとともに、都市の立地状況や様々な生活サービスの提供状況等に係る圏域内の地域構造の分析を行うことにより、首都圏の強み及び弱みが如何に存しているかを示し、首都圏の地域特性を明らかにする。

※各節として、「地勢」「人口」「産業」「地域資源(観光・自然環境・緑地・水資源・エネルギー等)」「医療・福祉」「国際的な人流・物流」「情報通信」「過密地域の渋滞問題等」「地域公共交通」「社会資本」「地球環境問題」「リサイクル(静脈物流)」「沿岸域」「景観」「交流・連携・互恵」などを記述。

第二章 首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向

第一節 首都圏の果たすべき役割

※全国的な視点から首都圏が果たすべき役割に対する認識を記述。
・日本全体を牽引する成長エンジン(経済・産業・学術・情報等の巨大集積)。
・首都機能を有する圏域であり、世界に対する日本の顔(政治・文化・歴史・環境などの様々な分野での情報発信・交流・貢献の場)。
・豊かで多様なライフスタイルが実現できる先進モデル圏域(首都圏は日本の縮図、様々な主体による多様な生活の実現可能性が最も高い圏域)。等
※首都圏が単独で持続可能な地域ではなく、圏域内及び他圏域との互恵関係で首都圏が成り立っているということも記述。

第二節 新たな首都圏の目指すべき方向

※全国的な視点からみた首都圏の役割を踏まえ、どのような圏域を目指すのか記述。
※首都圏の圏域構造を踏まえて各地域の特性と相互依存関係等を多角的に分析し、それぞれの地域が、首都圏全体として発展するために目指すべき方向を示す。
・働きやすい地域づくり
・新たなライフスタイルの創出
・美しく良好な環境と共生する圏域
(地球温暖化、循環型社会、自然環境、水循環、海洋等)
・安全で安心な地域社会の構築(自然災害、危機管理、安全保障)などの論点に対する考え方を記述。

→「キャッチフレーズ(例:「ゆとりある」、「美しい」、「豊かさを実感出来る」、「元気な」、「暮らしやすい」、「愛される」、「あきらめない」首都圏)

第三章 新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略

第一節 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化

テーマ1 国際競争力の源泉となる産業・業務の集積とイノベーションの創出
テーマ2 国際ゲートウェイの強化
テーマ3 円滑な物流・人流に資する交通ネットワーク体系の構築 等

第二節 人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域づくり

テーマ1 暮らしやすく活力あふれる美しい都市圏及び地域の形成
テーマ2 東京、大都市圏特有の課題への対応
テーマ3 地方都市、中山間・離島地域特有の課題への対応 等

第三節 安全な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理

テーマ1 災害に対する脆弱性への対応
テーマ2 危機管理に対する脆弱性への対応 等

第四節 環境の整備と保全

テーマ1 自然環境の保全・再生
テーマ2 地球温暖化対策の推進
テーマ3 海岸域管理(東京湾等)の充実
テーマ4 大気汚染対策等の推進
テーマ5 循環型社会の構築 等

第五節 交流・連携・互恵

テーマ1 観光交流の促進
テーマ2 地域間交流・連携の推進
テーマ3 多文化共生社会の実現
テーマ4 「新たな公」への取組み 等

第二部 分野別施策と主な関連事業